

山行報告書

報告書作成

2012年7月3日

山名 [山域]	薬師岳[北アルプス北部]	目的と方法	薬師見平、夢の平を望む
登山期間	2012/6/23(土)－24(日)	山行形態	テント泊
参加人数	3人		

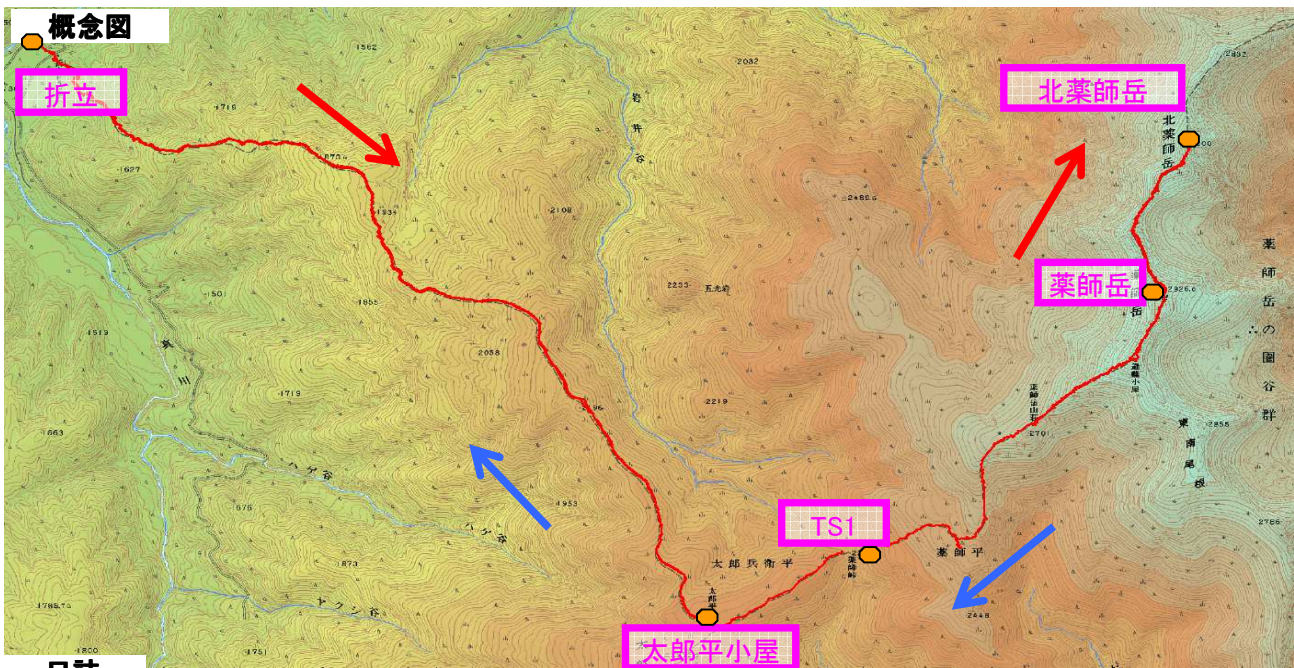
行動記録

◆1日目

K宅(0:00,5:05)＝0:05＝岡崎IC(5:10)＝1:30＝ひるがのSA(6:40,6:45)＝0:47＝城端PA(7:32,7:42)＝0:18＝呉羽PA(8:00,8:30)＝0:15＝立山IC(8:45)＝0:32＝有峰林道入り口(9:17)＝1:08＝折立PKG(1350m/10:25,10:55)＝1:10＝三角点(1871m/12:05,12:25)＝0:47＝ベンチ(2015m/13:12,13:20)＝0:30＝五光岩ベンチ(2196m/13:50,14:00)＝0:55＝太郎平小屋(2328m/14:55,15:30)＝0:24＝薬師峠キャンプ場TS(2294m/15:54)

◆2日目

起床TS1(3:00,4:20)＝0:25＝ケルン(4:45,4:55)＝0:40＝薬師岳山荘(2701m/5:35,5:45)＝1:00＝薬師岳(2926m/6:45,7:10)＝1:00＝北薬師岳(2900m/8:10,8:20)＝1:05＝薬師岳(9:25)＝0:35＝薬師岳山荘(10:00)＝0:25＝ケルン(10:25)＝0:35＝TS1(11:00,11:50)＝0:20＝太郎平小屋(12:10)＝0:35＝五光岩ベンチ(12:45)＝1:00＝三角点(13:45)＝1:15＝折立(15:00,15:25)＝1:25＝有峰林道ゲート(16:50)＝0:05＝国民宿舎 白樺ハイツ(16:55,17:05)＝0:55＝きときと寿司(18:00,18:30)＝0:30＝富山西IC(19:00)＝1:25＝ひるがのSA(20:25,20:45)＝1:45＝岡崎IC(22:30)＝0:05＝K宅(22:35)



日誌

◆1日目 快晴

中央道に比べ早朝から食堂がやっているSAが少ないため、苦勞する。S氏はここで白海老のかき揚げ丼を食べるもこれが災いとなり1日目の行程に苦勞することになる。折立に着くとすでに車は25台ほど駐車しており、梅雨の合間の晴れ間をみなさん楽しみにしていた様子。折立から急登が続く。登山道脇には、ゴゼンタチバナ、マイヅルソウ、イワカガミ、イワナシ、アカモノ、ミツバオーレンが賑やか。久々の重荷でなえる気分が和らいた。水芭蕉も咲いており感激した。三角点からは、西は白山、北には立山・剣が見え展望がよい。ここからはだらだらとした尾根を歩く。梅雨の時期とは思えない快晴！しかし胸焼け気味のS氏の嗚咽もまじる。尾根上はチングルマが盛り。時折雪渓をあるき太郎平小屋を経て薬師峠キャンプ場へ。テント10張りほど。夕食後は、太郎兵衛平から沈む夕日を堪能！北アルプスの山々も焼けてきれい。

◆2日目 快晴のち曇り

薬師岳への登山道は雪渓が残るが、さくさくしており念のため持って行ったアイゼンの必要は無かった。日の出を横目で眺めながら薬師岳山頂。コースタイムでは北薬師まで25分とあったが、アップダウンもしっかりあり1時間かかる。雪はそこまでなく、アイゼンの装着は必要なかった。北薬師からは見事な金作谷カールとS字モレーンにCLは感動していた。北薬師からの帰路お目当ての雷鳥出現。しばし撮影タイム。その後薬師岳山荘

感想

昨年のリベンジ薬師岳、無事果たせました！予想以上に好天に恵まれ、花も楽しめ、太郎平小屋からは、雲ノ平その先の槍ヶ岳も望め、大満足でした。ただ、稜線上が続く登山道は身を隠す場所がなく、苦勞するためトイレは遠慮せず利用させてもらうこと…これが今回の教訓でした。あと、確実に年は重ねているため、自分たちは若いかもしれないなんて、過信は禁物です…。そう！ポッカが必要なんです。